

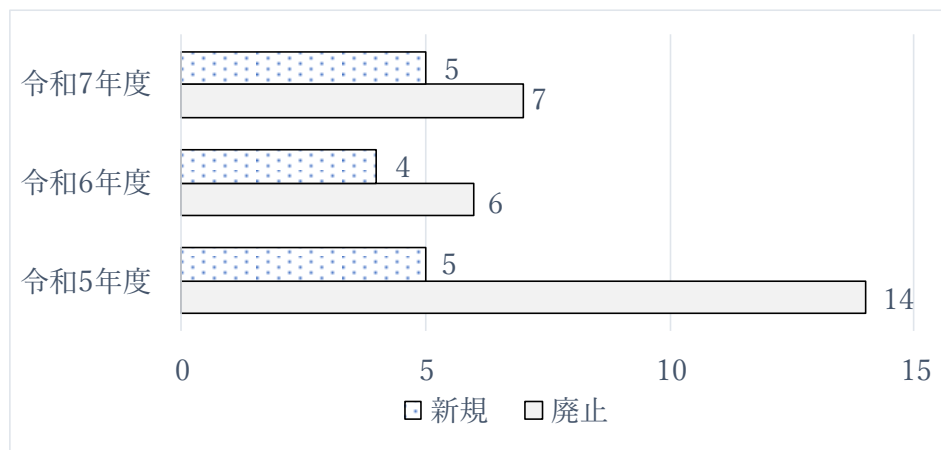
件 名	地域密着型サービス事業者等の新規及び更新指定について
所管部課	福祉部 高齢者施策推進室 介護保険課
内 容	前回報告以降、地域密着型サービス事業者等の新規及び更新指定状況について、以下のとおり報告する。 1 報告対象期間 令和8年2月から令和8年4月まで 2 新規指定 5事業所 (1) 新規事業所 介護予防支援（南西地区） 事業所所在地 足立区本木一丁目14番13号 運営法人 社会福祉法人ファミリー 事業所名 ケアステーションハピネスもとき 指定年月日 令和8年2月1日 (2) 新規事業所 認知症対応型通所介護（南西地区） 事業所所在地 足立区本木一丁目14番13号 運営法人 社会福祉法人ファミリー 事業所名 デイサービスセンター ハピネスもとき 指定年月日 令和8年3月1日 (3) 新規事業所 看護小規模多機能型居宅介護（南西地区） 事業所所在地 足立区西新井本町二丁目8番14号 セントラルマンション103 運営法人 有限会社アウトソー 事業所名 じゃすみん西新井本町 指定年月日 令和8年3月1日 (4) 新規事業所 地域密着型通所介護（北西地区） 事業所所在地 足立区鹿浜五丁目4番20号 プルミエールハイツ1階 運営法人 株式会社Welina 事業所名 リハてらす足立鹿浜 指定年月日 令和8年4月1日 (5) 新規事業所 認知症対応型通所介護（北東地区） 事業所所在地 足立区一ツ家一丁目2番1号 運営法人 株式会社KITEカンパニー 事業所名 スマイル・エイジング 指定年月日 令和8年4月1日

3 更新指定**1 2 事業所**

- | | |
|-----------|------------------------|
| (1) 更新事業所 | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（南西地区） |
| 事業所所在地 | 足立区梅島一丁目13番17号 |
| 運営法人 | 株式会社ケアフレンド |
| 事業所名 | ヘルパーステーションかるがも |
| 利用定員 | なし |
| 指定更新年月日 | 令和8年3月1日 |
| (2) 更新事業所 | 小規模多機能型居宅介護（北東地区） |
| 事業所所在地 | 足立区花畑三丁目5番17号 |
| 運営法人 | 有限会社アウトソー |
| 事業所名 | 小規模多機能居宅介護じゃすみん花畑 |
| 利用定員 | 登録29人（通所18人、宿泊6人） |
| 指定更新年月日 | 令和8年3月1日 |
| (3) 更新事業所 | 地域密着型通所介護（南西地区） |
| 事業所所在地 | 足立区西新井本町五丁目8番12号 |
| 運営法人 | 合同会社ユーマ・ミューズ |
| 事業所名 | 別邸はつね西新井 |
| 利用定員 | 18人 |
| 指定更新年月日 | 令和8年3月1日 |
| (4) 更新事業所 | 認知症対応型通所介護（南西地区） |
| 事業所所在地 | 足立区扇一丁目52番23号 |
| 運営法人 | 社会福祉法人聖風会 |
| 事業所名 | デイサービスセンター扇 |
| 利用定員 | 12人 |
| 指定更新年月日 | 令和8年4月1日 |
| (5) 更新事業所 | 認知症対応型通所介護（北東地区） |
| 事業所所在地 | 足立区谷中三丁目14番1号 |
| 運営法人 | 社会福祉法人東京蒼生会 |
| 事業所名 | 足立区谷中デイ・サービスセンター |
| 利用定員 | 12人 |
| 指定更新年月日 | 令和8年4月1日 |
| (6) 更新事業所 | 認知症対応型通所介護（北東地区） |
| 事業所所在地 | 足立区佐野二丁目30番12号 |
| 運営法人 | 社会福祉法人東京蒼生会 |
| 事業所名 | 足立区さのデイ・サービスセンター |
| 利用定員 | 12人 |
| 指定更新年月日 | 令和8年4月1日 |
| (7) 更新事業所 | 認知症対応型通所介護（北西地区） |
| 事業所所在地 | 足立区六月一丁目6番1号 |
| 運営法人 | 社会福祉法人聖風会 |
| 事業所名 | デイサービスセンター六月 |

	利用定員	12人
	指定更新年月日	令和8年4月1日
(8)	更新事業所	認知症対応型共同生活介護（北西地区）
	事業所所在地	足立区西新井五丁目42番10号
	運営法人	医療法人社団大和会
	事業所名	高齢者グループホーム こもれび
	利用定員	8人
	指定更新年月日	令和8年4月1日
(9)	更新事業所	認知症対応型共同生活介護（南東地区）
	事業所所在地	足立区綾瀬二丁目14番14号
	運営法人	株式会社コンフォート
	事業所名	コンフォートフィオーレ綾瀬
	利用定員	18人
	指定更新年月日	令和8年4月1日
(10)	更新事業所	小規模多機能型居宅介護（南東地区）
	事業所所在地	足立区綾瀬二丁目14番14号
	運営法人	株式会社コンフォート
	事業所名	コンフォートエルバ綾瀬
	利用定員	登録24人（通所15人、宿泊7人）
	指定更新年月日	令和8年4月1日
(11)	更新事業所	認知症対応型通所介護（北西地区）
	事業所所在地	足立区入谷九丁目15番18号
	運営法人	社会福祉法人長寿村
	事業所名	デイサービスセンター入谷翔裕園
	利用定員	12人
	指定更新年月日	令和8年4月1日
(12)	更新事業所	小規模多機能型居宅介護（南東地区）
	事業所所在地	足立区柳原一丁目29番16号
	運営法人	社会福祉法人すこやか福祉会
	事業所名	小規模多機能サービス よりみちの家
	利用定員	登録29人（通所15人、宿泊5人）
	指定更新年月日	令和8年4月1日

4 地域密着型サービス事業所増減数比較（令和8年3月31日現在）



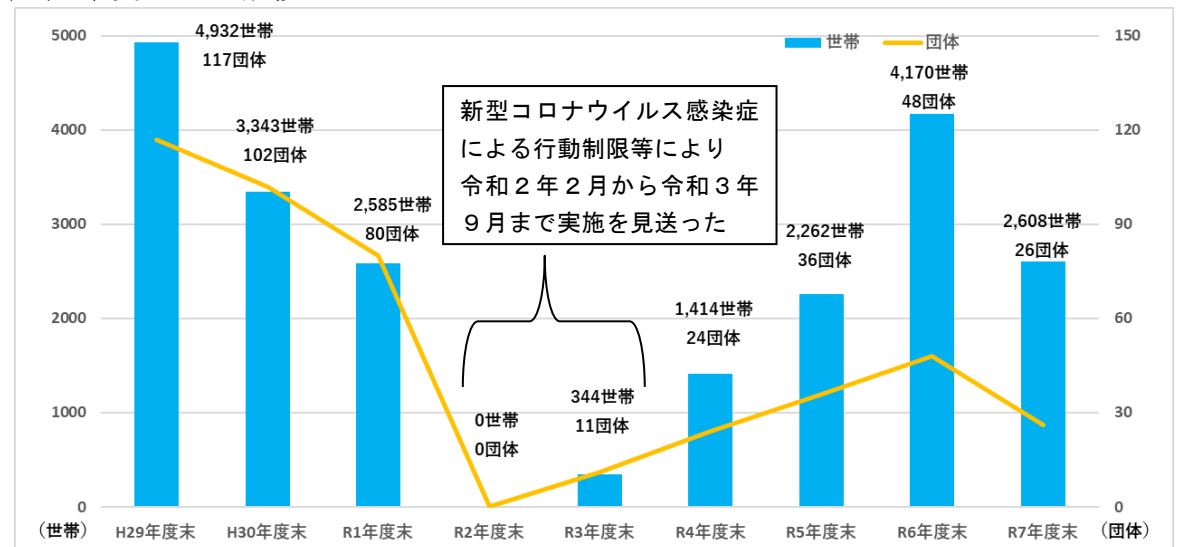
※ 介護予防支援は令和6年度から指定のため含まない。

※ 吸収合併、事業譲渡等による指定は含めない。

件名	介護・障がい福祉サービス従事者向け永年勤続褒賞制度の拡充について		
所管部課	福祉部 障がい福祉課、福祉部 高齢者施策推進室長付 介護保険課		
内容	令和 8 年度から拡充する、介護・障がい福祉サービス従事者に向けた永年勤続褒賞制度について、以下のとおり報告する。		
	1 制度拡充の概要		
	永年勤続褒賞の新設（障がい福祉従事者）および対象者を拡大することで、介護・障がい福祉サービス従事者の意欲向上と社会的評価の向上を図り、従事者不足の解消及び定着率の向上につなげる。		
	種別	令和 7 年度まで	令和 8 年度から
	介護従事者	5・10・15 年目を対象	20・25 年目を追加
	障がい福祉従事者	制度なし	5・10・15・20・25 年目を対象に開始
【共通】 記念品(図書カード)	5 年 5,000 円 10 年 10,000 円 15 年 15,000 円 20 年 20,000 円 25 年 25,000 円		
	※ 障がい福祉従事者は令和 8 年度から制度の開始となるため、勤続年数を満たしている従事者すべてが対象となる。		
	2 今後のスケジュール		
	日程	実施内容	
	5 月～7 月	事業者へ推薦を依頼 ※障がい福祉従事者は初年度のため早めに通知し 事業者からの問い合わせに丁寧に対応する。	
	7 月～8 月	推薦書類の受付・推薦書類の審査	
	9 月～10 月	受賞者の決定・事業者へ通知	
	11 月	表彰式 ※例年は 11 月 11 日（介護の日）だが、受賞者が 出席しやすいよう土日開催も含めて検討する。	

件 名	孤立ゼロプロジェクト推進活動の実施状況について				
所管部課	地域のちから推進部絆づくり担当課				
内 容	孤立ゼロプロジェクト推進活動の実施状況について以下のとおり報告します。 1 令和 7 年度の総括 (1) 高齢者実態調査 (項番 2) 令和 6 年度実績の約 6 割に留まった。 調査を担う町会・自治会の役員、会員の高齢化や加入率の低下に加え、国勢調査の実施により、調査実施が困難な団体が多かったことが考えられる。 (2) わがまちの孤立ゼロプロジェクト (項番 3) 高齢者実態調査や、既に独自で見守り活動を行っている町会・自治会への勧奨により、31 団体の登録増加となった。 (令和 6 年度 128 団体、令和 7 年度 159 団体) (3) 絆のあんしん協力員 (項番 4 (1)) 新規登録者 168 名、辞退者 72 名で、総数は 1,308 名となった。 (4) 絆のあんしん協力機関 (項番 4 (2)) 地域包括支援センター (以下「ホウカツ」という。) の積極的な声かけ等により、新規登録が 177 団体あり、総数は 1,274 団体となった。 (5) 孤立ゼロ強化月間の実施 (新規) (項番 5 (1)) 11 月を「孤立ゼロ強化月間」と位置づけ、事業の周知に加え、「孤立のおそれのある高齢者に気付いたらホウカツへ」連絡をしていただけるよう啓発を行った。 2 高齢者実態調査実施状況 町会・自治会による訪問調査で、孤立のおそれのある高齢者に気づき、関係機関や必要な行政サービスにつなげている。 (1) 令和 7 年度町会・自治会実施数【令和 8 年 3 月末日現在】 <table><tr><td>調査実施団体</td><td>調査世帯合計 (人数)</td></tr><tr><td>26 団体</td><td>2,608 世帯 (3,303 人)</td></tr></table>	調査実施団体	調査世帯合計 (人数)	26 団体	2,608 世帯 (3,303 人)
調査実施団体	調査世帯合計 (人数)				
26 団体	2,608 世帯 (3,303 人)				

(2) 年度ごとの推移



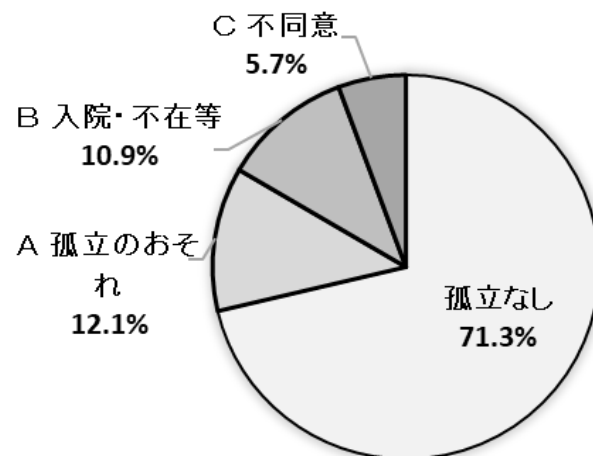
(3) 高齢者実態調査実施回数別団体数

実施回数	1	2	3	4	5	6	14	19	計
団体数	70	230	108	27	18	2	1	1	457
割合(%)	15.3	50.3	23.7	5.9	4.0	0.4	0.2	0.2	100

(4) 調査結果の内訳【令和8年3月末日までの累計】

調査世帯合計：58,857 世帯 (72,541 人) ※				
孤立なし	A 孤立のおそれ	B 入院・不在等	C 不同意	小計
41,982 世帯 (52,708 人) 71.3%	7,134 世帯 (8,901 人) 12.1%	6,408 世帯 (6,861 人) 10.9%	3,333 世帯 (4,071 人) 5.7%	16,875 世帯 (19,833 人) 28.7%

※ 70歳以上単身世帯：45,037世帯
75歳以上のみ世帯：13,820世帯



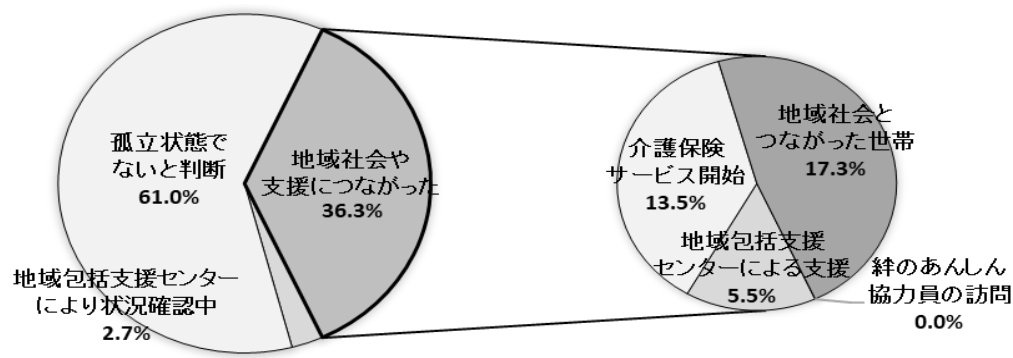
(5) ホウカツによる再訪問と成果【令和8年3月末日現在】

町会・自治会の調査によって孤立のおそれがある世帯、不在や拒否により調査できなかった世帯を、ホウカツの職員が根気強く訪問している。

事業開始以来、58,857世帯を調査し、約10%の6,120世帯が必要なサービスや地域社会につながった。

町会・自治会 による調査	ホウカツによる再訪問の成果						ホウカツ により状 況確認中
	孤立状態 でないと 判断	地域社会や支援につながった				小計	
		絆のあん しん協力 員の訪問	ホウカツ による支 援	介護保険 サービス 開始	地域社会と つながった		
A 孤立のおそれ 7,134	4,332 (60.7%)	1 (0.0%)	247 (3.5%)	1,243 (17.4%)	1,192 (16.7%)	2,683 (37.6%)	119 (1.7%)
B 入院・不在等 6,408	4,155 (64.9%)	1 (0.0%)	411 (6.4%)	650 (10.1%)	980 (15.3%)	2,042 (31.9%)	211 (3.3%)
C 不同意 3,333	1,803 (54.1%)	1 (0.0%)	267 (8.0%)	387 (11.6%)	740 (22.2%)	1,395 (41.9%)	135 (4.1%)
合計 (A+B+C) 16,875	10,290 (61.0%)	3 (0.0%)	925 (5.5%)	2,280 (13.5%)	2,912 (17.3%)	6,120 (36.3%)	465 (2.7%)

単位：世帯 ※ 調査後の転出・死亡等8,402世帯を含む。



3 わがまちの孤立ゼロプロジェクト実施状況

日常的に見守りや声かけを行う町会・自治会等に、区が見守り応援グッズを提供し、自主的な見守り活動を支援している。

(1) 実施団体数【令和8年3月末日現在】

実施団体	① 集合住宅のみの 町会・自治会	② ①以外の 町会・自治会	マンション 管理組合
159団体	76団体	82団体	1団体

※ 令和7年度 新規実施：34団体 辞退：3団体

(2) 実施内容【令和8年3月末日現在】

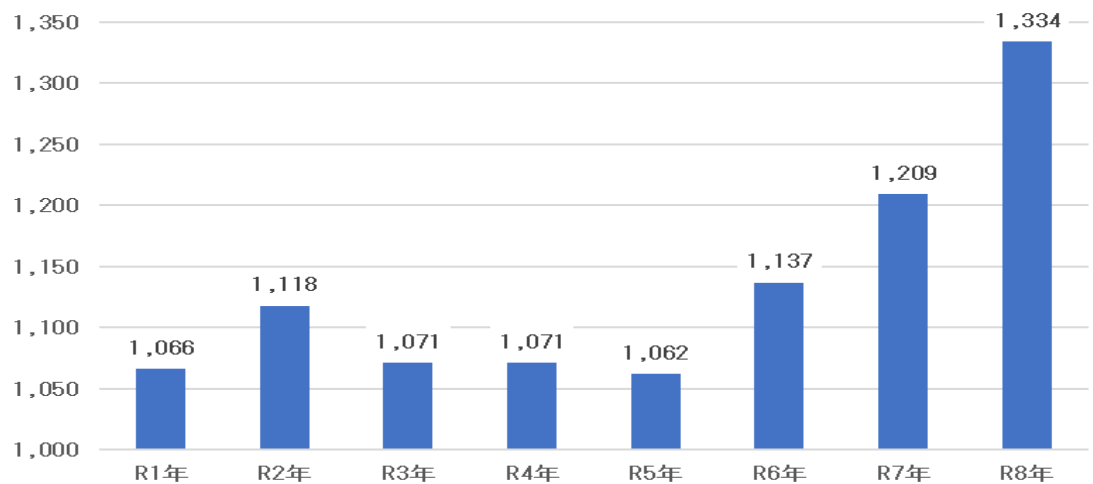
声かけ・訪問		居場所づくり	
敬老祝い	92団体	サロン活動	26団体
清掃活動、廃品回収	70団体	お茶飲み会	23団体
ラジオ体操、健康体操	43団体	歌や体操、脳トレ	24団体
町会・自治会費集金	80団体	グラウンドゴルフ	15団体
見守りパトロール	41団体	その他（バス旅行など）	40団体
その他（お祭りなど）	32団体		

※ 団体により複数の活動を行っているため重複あり。

4 絆のあんしんネットワーク

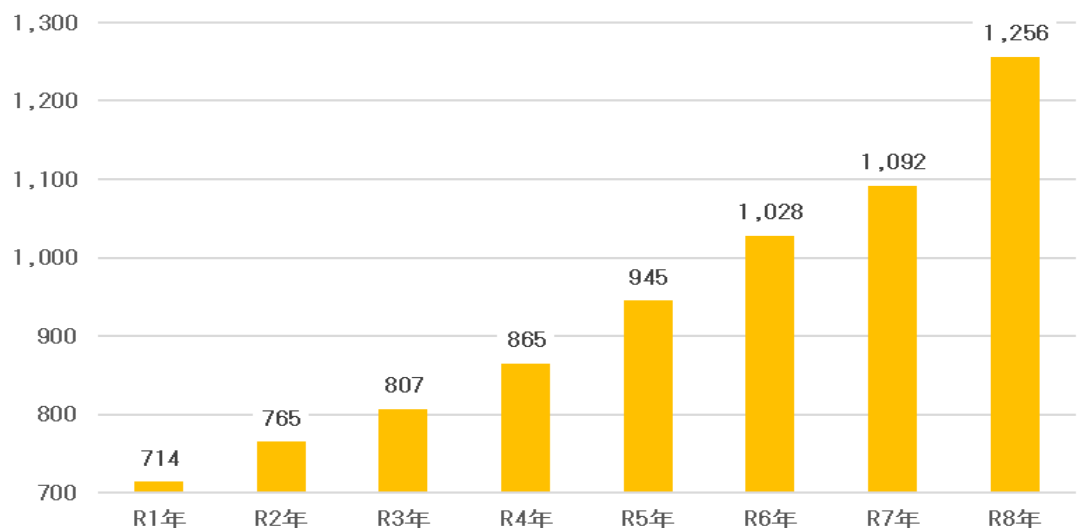
(1) 絆のあんしん協力員※登録者数（各年1月1日現在）

※ 高齢者の見守りや声かけをしていただくボランティア



(2) 絆のあんしん協力機関※登録団体数（各年1月1日現在）

※ 日常業務や活動の中で高齢者の見守りや声かけをしていただく事業所や団体



5 新規及び拡充した取り組み

(1) 孤立ゼロ強化月間【新規】

令和7年度より11月を「孤立ゼロ強化月間」と設定し、区内の事業所、店舗などにポスター、ステッカー、卓上ミニのぼり掲出の協力を得て、「気になる高齢者に気付いた際はハウカツへ」の周知を強化した。

※ 535店舗が協力登録【令和7年12月25日時点】

ポスター



ミニのぼり



ステッカー



(2) 現役世代へのアプローチ【新規】

男性の多い区内の運送事業者や警備会社へ直接出向き、主に現役世代を対象に今からできる孤立対策として、地域活動への参加など、地域との接点を築いておくことの大切さの啓発を始めた。

(3) 学校との連携【拡充】

令和5年12月から開始された、ハウカツが実施するスマホ教室や五反野駅前の清掃活動への都立青井高校生徒の参加に加え、近隣のハウカツが実施する事業や地域イベントのサポートなどに、令和7年度は新たに都立足立西高校、足立東高校、江北高校の生徒が参加した。

6 今後の方針

(1) 見守り、声かけ体制の新たな構築【新規】

町会・自治会の訪問による高齢者実態調査実施の負担を軽減し、調査を伴わず見守りに繋げていく新たな手法を構築するため、高齢者見守り希望郵送調査（モデル事業）を実施する。

(2) 熱中症やヒートショック予防の啓発【継続】

ア 夏季と冬季に発行する「絆づくり通信」にて、熱中症及びヒートショックの予防を呼びかける。

イ 夏季にハウカツが高齢者宅を訪問した際に温湿度計を配付し、適切なエアコン使用を促す。

ウ 夏季の見守りや声かけ訪問実施者の暑さ対策のため、クールネックリングを配付する。

エ 高齢者実態調査や見守り活動実施時に熱中症、ヒートショック予防啓発メッセージ入りのタオルを配付する。

(3) 若年層の参加推進

ア 地域における見守り、声かけ活動等が安定的に継続されるよう、大学生や高校生等の若年層の参加を呼びかける。【継続】

イ 項番5(2)の現役世代へのアプローチの機会を捉え、事業者従業員へのヒアリングなどで現役世代が具体的に求める施策の把握に努める。【新規】

(4) 孤立ゼロプロジェクト推進活動のさらなる周知強化【継続】

11月の「孤立ゼロ強化月間」を含め、区主催のイベントにて来場者に広く事業を周知し、認知度を向上させる。